

第19回 TAMA NEW WAVE コンペティション応募要項

目的	日本映画界に新風を送り込む新しい才能を発見し、TAMAより広く発信することを目的とする。
応募資格	以下の条件を満たした中篇、長篇の映像作品であること。 <ul style="list-style-type: none">・ 劇場公開作品が3本以下の監督作品であること。・ 2016年8月以降の日本国内で製作完成した30分以上100分以下の作品であること。・ 撮影のフォーマット(フィルム、ビデオ等)は問いませんが 審査用にDVD、上映用にDVD、Blu-rayのいずれかの上映素材を準備できること。・ 2018年11月末日時点で劇場未公開の予定でソフトが市販されていないこと。(イベントなどでの劇場上映は問題ありません)・ プロ・アマは問いません。
応募方法	以下のものを下記応募締切までに送付のこと。 <ul style="list-style-type: none">・ 応募用紙(本紙応募用紙部もしくは下記ホームページよりダウンロードして使用)・ DVD 5枚(審査の都合上、コピーガードをかけないでください。)・ 映画スチル(3種以上)・ 監督のポートレート・ シノプシス(あらすじ)A4用紙1ページ程度・ 応募費用 2,000円(郵便為替を同封のこと) ※スチル及びポートレートはCD-RもしくはDVDが望ましい。 ※上記応募資料は映画祭の記録としてTAMA映画フォーラム実行委員会で保管し返却しないのでオリジナル素材は送付しないでください。
応募締切	2018年7月20日(金) 必着
賞金	グランプリ 40万円 特別賞 20万円
審査方法	予備審査: TAMA映画フォーラム実行委員会が審査を行い、コンペティション部門ノミネート作品及び、ある視点部門上映作品を決定。 上映作品は10月上旬頃に映画祭ホームページにて発表する。 コンペティション部門: 第28回映画祭TAMA CINEMA FORUM期間中[11/17(土)~11/25(日)]にノミネート作品を一挙上映し、本審査を行う。全作品上映終了後には授賞式をとりおこなう。 【グランプリ】 観客の視点からTAMA映画フォーラム実行委員会の審議結果とコンペティション当日の一般審査員の投票に基づき決定する。 【特別賞】 ゲストコメンテーターが選定し決定する。 ある視点部門: 予備審査において実行委員から強い支持のあった作品を映画祭プログラム内の「ある視点」部門にて上映する。
審査基準など	作家としての自己表現を尊重するとともに、中篇・長篇として、観客を意識した映画作りを行っていることを評価する。したがって、ストーリー構成力、キャラクター造形力、映像としての表現力に重点を置いて審査する。 受賞作品は一人でも多くの観客の目に触れるよう、TAMA映画フォーラム実行委員会が支援していくものとする。
版權について	ノミネート作品、上映作品の版權はあくまでも出品者側にあるが映画祭終了後、TAMA映画フォーラム実行委員会が上映会ならびに宣伝活動のためにインターネット・新聞・雑誌・TVなどのメディアに作品スチル・監督のポートレートを提供できるものとする。
個人情報の取扱について	応募用紙によりTAMA映画フォーラム実行委員会が取得した個人情報は、本コンペティションに際する連絡、ホームページ上での作品情報開示、映画祭後の上映活動などにおいてのみ利用させて頂き、適切に管理・保護する。
その他	応募作品で既成の映像や音楽、または原作(小説・漫画など)を使用する際は、必ず著作権の許諾を得ること。 上映決定後、著作権の許諾が取れていない場合は、実行委員会の判断により審査結果を無効にし、上映を取り消す場合がある。 ノミネート作品並びに映画祭での上映が決まった作品に関して予告編を映画祭ホームページで公開する。 その他、作品応募およびTAMA NEW WAVEの詳細については、映画祭ホームページもご確認ください。
送付先 問い合わせ先	〒206-0025 多摩市永山1-5 多摩市立永山公民館内 TAMA映画フォーラム実行委員会(事務局) 電話:(直通)080-5450-7204 E-mail:newwave@tamaeiga.org 映画祭ホームページ: http://www.tamaeiga.org/

第19回 TAMA NEW WAVE コンペティション応募用紙(つづき)

監督経歴

生年月日:

出身:

セールスポイント

備考欄 (原作・音楽で著作権問題がクリアになっていない場合はその状況をご記入ください)